

令和7年度野々市市議会高校生議会 会議録



野々市市議会

■日時

令和7年7月23日(水)午後2時30分から午後4時08分まで

■出席者

(高校生)

石川県立野々市明倫高等学校

1番 河上莉緒議員、2番 横山朱理議員、3番 松本紀穂議員、
4番 加賀谷侑那議員、5番 大和美晴議員、6番 坂口紗奈議員、
7番 瀬 森乃介議員、8番 前 遥登議員、9番 高瀬怜桜議員、
10番 稲林莉瑚議員、11番 垣坂穂佳議員、12番 小杉優衣議員、
13番 青木友紀議員、14番 宮向那和議員、15番 野本紘路議員

(野々市市議会議員)

岩見博議員、中村義彦議員、西本政之議員、安原透議員、北村大助議員、
向田誠市議員、小堀孝史議員、朝倉雅三議員、梅野智恵子議員、畠中勝己議員、
田中陽子議員、西村雅博議員、中村和流議員、木谷直子議員、三納昭博議員

(野々市市長)

栗貴章市長

開 会

7月23日午後2時30分開会

○小杉優衣議長 これより令和7年度野々市市議会高校生議会を開会いたします。

本日、議長を務めます野々市明倫高校の小杉優衣です。

よろしくお願いいたします。

議 長 挨 拶

○押田浩三議会事務局長 議会事務局長の押田と申します。

初めに、主催者を代表いたしまして、安原透議長が御挨拶を申し上げます。

〔安原透野々市市議会議長登壇〕

○安原透野々市市議会議長 石川県立野々市明倫高校の15名の皆さん、ようこそこの野々市市議会へお越しをいただきました。心から歓迎を申し上げたいと思います。

また、本日は公務で御多用の中、栗野々市市長にも御臨席を賜っております。心から感謝を申し上げます。

そして、本日は高校生議会開催に当たり、明倫高校の校長先生をはじめ、先生の皆様方、また、教育委員会の皆様方にも御理解と御協力、御尽力を賜っておりますこと、まずは心から感謝と御礼を申し上げたいと思います。

この市議会は、市民の皆様のお声を市政に届ける大切な役割を持っております。

本日、15名の皆さんからたくさんの質問をお受けすることになりますが、それぞれ議員各位、この質問を真摯に受け止め、そして行政とともにその質問について解決をしていく、または、市政に反映をしていく、または、このまちづくりに生かしていく、そのことを議論するのがこの議会となりますので、皆様にはよろしくお願いいたしますというふうに思っております。

高校生の皆様の我々が気づかない目線を持って御議論をぜひ頂きたいというふうに思っております。

結びになりますが、高校生議会が15名の皆様にとって有意義で、そして実りある経験になりますことを心から願ひまして、開催に当たりましての御挨拶とさせていただきます。

本日はよろしくお願いいたします。

出 席 者 の 紹 介

○押田浩三議会事務局長 続きまして、高校生議員、市長、市議会議員の紹介に移ります。

それでは初めに、高校生議員の御紹介をいたします。

先ほど自己紹介をしました、小杉優衣議長以外のお名前を議席番号順にお呼びいたしますので、返事をして、起立をし、礼をして、着席をしてください。

石川県立野々市明倫高等学校、1番河上莉緒議員、2番 横山朱理議員、3番 松本紀穂議員、4番 加賀谷侑那議員、5番 大和美晴議員、6番 坂口紗奈議員、7番 瀬森乃介議員、8番 前遥登議員、9番 高瀬怜桜議員、10番 稲林莉瑚議員、11番 垣坂穂佳議員、13番 青木友紀議員、14番 宮向那和議員、15番 野本紘路議員。

以上で、高校生議員の御紹介を終わります。

続きまして、市長、市議会議員の御紹介をいたします。順にお名前をお呼びいたしますので、その場で御起立をお願いいたします。なお、市議会議員につきましては、先ほど御挨拶を申し上げました安原透議長以外の名前をお呼びいたします。

栗貴章市長、岩見博議員、中村義彦議員、西本政之議員、北村大助議員、向田誠市議員、小堀孝史議員、朝倉雅三議員、梅野智恵子議員、畠中勝己議員、田中陽子議員、西村雅博議員、中村和流議員、木谷直子議員、三納昭博議員。

以上で、市長、市議会議員の御紹介を終わります。

本日の野々市市議会高校生議会の議長は、小杉優衣議長、坂口紗奈議長の順に進めさせていただきます。

どうぞよろしくお願いいたします。

一 般 質 問

○小杉優衣議長 これより一般質問を行います。

通告を受けておりますので、順次発言を許します。

1 番、河上莉緒議員。2 番、横山朱理議員。3 番、松本紀穂議員。

〔河上莉緒議員、横山朱理議員、松本紀穂議員登壇〕

○小杉優衣議長 1 番、河上莉緒議員。

○河上莉緒議員 のっティバスについての提案です。

今ののっティの頻度は1時間に1回しかなく、下校にのっティを利用する生徒が乗り遅れてしまったら、次の1時間後ののっティまで待たないといけません。もし早く家に帰らなければいけない用事があった場合に、そののっティを逃してしまうと大変困ると思います。実際に自分の周りでものっティの頻度を増やしてほしいという声をよく聞きます。ほかにものっティの頻度を増やすことで、明倫生だけでなく地域の方も助かるのではないかと思います。

のっティの増便について市のお考えをお聞きします。

○小杉優衣議長 岩見博さん。

〔岩見博登壇〕

○岩見博 河上莉緒議員の質問にお答えいたします。

明倫高校の皆さんには日頃より通学や地域での利用においてコミュニティバスののっティ並びにシャトルバスのんキーを御利用頂き、誠にありがとうございます。

コミュニティバスののっティは、地域間の移動を促し、住民活動の活性化を図るため交通の不便な地域から鉄道駅、公共施設への交通手段を提供することを主な目的としておりまして運行をしております。

議員提案ののっティの増便につきましては、明倫高校の皆様を含め、地域の方々の利便性向上、ひいては利用者の増加にもつながるものと認識をしております。

しかしながら、増便につきましては、現在、全国的にバス運転士の不足が深刻化しており、また、燃料費や人件費の高騰をはじめとする運行経費の増加といった課題も重なっております。

こうした背景からバスの増便を実施するためには、バス会社の運航体制や予算面での調整など、複数の課題を解決する必要があります。

現時点においては、直ちに増便を実現することは困難であると考えております。

頂きました御意見につきましては、いずれも貴重な提案でございますので今後ののっティの利便性の向上及び利用促進に向けた取組を進めるに当たっての参考とさせていただきたいと思っています。

今後とものっティの運行につきまして、市民の皆様がより便利に安心して御利用頂けるように努めてまいりたいと考えておりますので、御理解のほどよろしくお願いいたします。

○小杉優衣議長 2番、横山朱理議員。

○横山朱理議員 私は、学校や塾以外で勉強できる場所が少ないと感じます。

家庭の事情などで塾に通えない子どもにとっては、図書館が使えない場合、勉強する場所がなくなってしまうこともあります。私も以前そのような経験があり、せっかく勉強しようという気持ちがあっても気軽に使える場所がなければその意欲を生かせないと思います。

誰でも利用できる勉強スペースがあれば勉強への意欲が高まり、集中して学習できる環境が整うと思います。

学習スペースの設置についてのお考えをお聞きます。

○小杉優衣議長 中村義彦さん。

〔中村義彦登壇〕

○中村義彦 横山朱理議員の一般質問にお答えさせていただきます。

学びの杜野々市カレードは、約 25 万冊の蔵書を持つ図書館と音楽、料理、美術、工芸など様々な活動に対応できる市民学習センターの機能を併せ持つ複合施設として、多くの市民の方に御利用頂いております。

自習ができるスペースといたしましては、カレード2階にあります学習室に 40 席を設けております。ただ、テスト期間中など非常に混雑し、全ての御希望に応えられない状況であります。

このようなことから学習室が満席の場合、市民学習センターの創作スタジオ1を予約の入っていないときに学生さんのために自習スペースとして開放したいと考えています。約 25 席の定員でございます。

まずは学校の長期休み中の実施に向けて部屋の利用時間帯や座席の使用時間など、運用ルールを検討してまいります。

本市では、図書館以外にもにぎわいの里ののいちカミーノの1階及び2階のフリースペースといった自習のできる座席がございます。学習や調べものにぜひ御活用頂ければと思います。

○小杉優衣議長 3番、松本紀穂議員。

○松本紀穂議員 野々市市から明倫高校に登校している生徒から、来々亭野々市店そばの十字路交差点での歩行者信号の歩行時間が短く、高齢者が時間以内に渡り切れていなかったり、無理に渡ろうとする人が多いと伺いました。また、車通りも多く、通学路でもあるので車両の運転手が停止線などで安全に停止できるかどうかを判断することが困難となり、交差点における衝突事故を引き起こす恐れがあります。

交通事故を阻止し、安全環境を確保するために、歩行者信号時間を長く改善してほしいです。

御検討をお願いします。

○小杉優衣議長 西本政之さん。

〔西本政之登壇〕

○西本政之 西本政之がお答えいたします。

松本紀穂議員から三納交差点の歩行者用信号機に関する御提案を頂きました。

まず初めに、信号機の設置などにつきましては、石川県公安委員会の管轄であります。分かりやすく言いますと警察の管轄なのです。

ですから、市の判断だけで変更したり設置したりできるものではないということは御理解頂きたいと思います。

三納交差点では、令和3年3月に通常の信号機とは異なる右左折する車両と横断歩行者が交錯しないよう、通行の時間帯を分離する歩者分離式信号機が導入され、歩行者が事故に遭うリスクの低減に有効とされております。

信号機の周期も警察が地域の交通状況や交差点の特性に基づいて調整されており、歩行者用信号機の青信号の時間を延長することにより歩行者の安全性が高まることが期待されます。

一方で、車のドライバーからは、交通渋滞の苦情が寄せられている当該交差点でさらに車両の信号待ちが長くなることで交通渋滞が助長される可能性もあります。

警察は交通の安全性と円滑化の両方を考慮しながら調整しているものと伺っております。

三納交差点における歩行者用信号機の時間に関しましては、地域の方々や学校関係者、また、市の交通関係団体などの御意見を伺いながら必要に応じ警察への申入れを行ってまいりたいと考えております。

○小杉優衣議長 1番、河上莉緒議員。2番、横山朱理議員。3番、松本紀穂議員。

○河上莉緒議員 これで終わります。ありがとうございました。

○小杉優衣議長 4番、加賀谷侑那議員。5番、大和美晴議員。6番、坂口紗奈議員。

〔加賀谷侑那議員、大和美晴議員、坂口紗奈議員登壇〕

○小杉優衣議長 4番、加賀谷侑那議員。

○加賀谷侑那議員 道路の渋滞改善について提案します。

野々市市では、朝と夕方の通勤退勤時に野々市市から金沢市の会社に通勤している人の車で渋滞が発生しています。特に、イオンタウンがある通りでの渋滞が深刻です。

通勤時間が長くなることは、運転手にストレスを与え、環境にも影響を及ぼすと思います。ほかの街では過去の交通データを基にAIが渋滞を予測し、青信号の長さを自動で調整したり、公共交通機関を利用するように誘導し、車の量を減らして渋滞改善につなげるといった対策が実施されています。野々市市では、道路の渋滞の改善に向けてどのような対応をいただけるのかお聞きします。

○小杉優衣議長 安原透さん。

〔安原透登壇〕

○安原透 加賀谷侑那議員の一般質問にお答えをいたします。

本市では、これまでに渋滞の著しい交差点を中心に国や県、警察などと連携をし、車両の流れをスムーズにするため道路を改良による右折レーンの設置や、信号サイクルの調整など様々な渋滞の緩和政策を行ってまいりました。

議員御指摘のAIを活用した信号機に関しましては、警察庁が東京都内の一部の交差点で導入を始めたものと認識をしております。

石川県内ではまだ導入されていないと聞いておりますが、今後も地域の交通実態を踏まえた

上で、全国の先進的な取組を精査しながら引き続き国や県、警察などと連携をし、交通渋滞の改善に努めてまいりたいと思っております。

○小杉優衣議長 5番、大和美晴議員。

○大和美晴議員 街路樹の高さの修正についてお願いがあります。

野々市市役所がある大通りに街路樹がある場所がありますが、この街路樹の高さが高く脇道からでは車高の低い車の存在を認識できないことがあります。具体的には新庄6丁目、栗田6丁目の境あたりです。私が認識しているのはここだけですが、ほかにもあると思います。学生の通学路でもよく使われる道で本当に危ないです。

野々市市として状況の把握と対策についてお聞きます。

○小杉優衣議長 北村大助さん。

〔北村大助登壇〕

○北村大助 大和美晴議員の御質問にお答えさせていただきます。

街路樹につきましては、市街地において緑がもたらす様々な効果を通じて、道路沿線の快適な生活環境の確保に寄与するものと認識をいたしております。

一方で、大和議員御指摘のとおり、街路樹の成長により見通しが悪くなり交通事故の発生が懸念されることから、適切な維持管理が必要であると考えております。

このため本市では、交通安全上支障となる街路樹について、順次剪定を進めさせていただきまして、道路の見通しの確保に努めております。

大和議員お話しの箇所、そしてその他の箇所につきましても現地を確認させていただき、優先度の高い箇所から剪定など現場の状況に合わせた対応を行ってまいりたいと考えております。

今朝ほど大和議員御指摘の場所につきましては、確認をしてまいりました。剪定をさせていただいておりますけれども、市道路線と言われます野々市市が設置管理する道路路線の総延長が約240キロメートルございます。野々市市から大体京都ぐらいまでの距離です。

そういった中で、御指摘を頂きました街路樹という路線が240キロメートルの中の約40キロメートルほどの距離になります。本市から大体小松市ぐらいの距離の街路樹がございます。

そういった中で、造園業者さんに街路樹の剪定をお願いさせていただくわけですが、どうしても最初に剪定をする場所と後からすると、若干の最初にすると時間の差というものはどうしても生まれることと思いますが、引き続き適正な維持管理に努めてまいりたいと思います。

○小杉優衣議長 6番、坂口紗奈議員。

○坂口紗奈議員 道路にある融雪装置の増設について提案します。

冬場主要の道路では融雪装置が作動されていますが、一部の道路ではいまだ設置されていません。特に栗田のきときと寿司とローソンの間から県道189号の融雪装置は部分的に設置されていますが、途中からなくなってしまっている部分があります。

この道路を走行する際に段差が生まれてしまうことや、融雪されていないため車がはまってしまう可能性が高くなります。また、その場所は十字路で車の行き来も多い場所であるので、車がはまると渋滞を引き起こしてしまうでしょう。小学生の集団登校で利用されている横断歩道もあります。

利用者の安全のためにも、融雪装置の増設など野々市市の対応についてお聞きます。

○小杉優衣議長 向田誠市さん。

〔向田誠市登壇〕

○向田誠市 坂口紗奈議員の融雪装置の増設についてお答えいたします。

融雪装置につきましては、冬季間の除雪手段として有効であると認識しておりますが、近年では融雪装置に使用する地下水を大量にくみ上げることで地盤沈下などを引き起こす要因となっており、環境保全の観点から融雪装置の新設に当たっては十分な検討が求められております。

議員お話しの県道 189 号額谷三浦線につきましては、石川県が管理する道路であります。この道路の融雪装置は、沿線に建物が多数建ち並ぶ市街地について主に設置されているものでございます。また、融雪装置が設置されていない区間につきましては、機械による除雪を実施しているところではありますが、融雪装置と機械除雪の境目においては段差が生じるなど、通過車両の円滑な通行の支障となることもございます。

こういった状況を改善し市民の皆様が安心して生活できる環境を整えるためにも、本市では融雪装置の延伸について、県に要望してまいりたいと考えております。

今後とも引き続きその実現に向けて取り組んでまいります。

○小杉優衣議長 4 番、加賀谷侑那議員。5 番、大和美晴議員。6 番、坂口紗奈議員。

○加賀谷侑那議員 以上で終わります。ありがとうございました。

休 憩

○小杉優衣議長 この際、暫時休憩いたします。再開は午後 3 時 10 分といたします。

午後 3 時 03 分休憩

再 開

午後 3 時 10 分再開

○坂口紗奈議長 休憩前に引き続き会議を開きます。

これより議長を務めます野々市明倫高校の坂口紗奈です。

よろしくお願いいたします。

引き続き一般質問を行います。

一 般 質 問 （ 続 ）

○坂口紗奈議長 7 番、瀬森乃介議員。8 番、前遥登議員。9 番、高瀬怜桜議員。

〔瀬森乃介議員、前遥登議員、高瀬怜桜議員登壇〕

○坂口紗奈議長 7 番、瀬森乃介議員。

○瀬森乃介議員 活気のある街を可視化できるように、中高生でも公園を楽しめるようにしたいと思いました。

今の中高生は、室内で遊ぶことが多い傾向にあると思います。その背景には、外で遊ぶとしても中高生にはお金がかかる場所で遊ぶことが多く、お小遣いが少ない家庭や貧しい家庭などで遊びたいのに遊べない状況にあると思います。

それに追い打ちをかけるように、近年では公園の遊具の老朽化が進み野々市市では遊具が 1 個しかない公園が多くあります。そこで外でも中高生でも楽しめ遊ぶ機会が多くなるようなバ

スケができるハーフコートぐらいの公園、テニスの壁打ちや試合ができる公園を増やしてほしいと思いました。

公園のバリエーション増加の計画の有無についてお聞かせください。

○坂口紗奈議長 小堀孝史さん。

〔小堀孝史登壇〕

○小堀孝史 瀬森乃介議員の御質問にお答えいたします。

現在、本市には 132 か所の公園がございます。

公園には、明倫高校前にございます野々市中央公園のように多くの市民の方に休息、観賞、散歩、遊戯、運動など総合的な利用に供することを目的とした比較的広大な総合公園や I R 野々市駅周辺にありますつばきの郷公園のように、主として徒歩圏内に居住する者の利用に供することを目的とした地区公園、そのほか住宅地などの身近な場所にある小さな街区公園などの種類があります。

公園に設置してある遊具や施設の数、機能につきましては、公園の種類や地域の方々からのニーズなどにより公園ごとに異なっております。

遊具につきましては、安全に御利用頂くことができるよう、毎年、専門業者による定期点検や職員等による日常点検を行い、危険と判断した遊具については新しいものに設置するなど、老朽化対策に努めているところでございます。

バスケットボールやテニスができる公園を増やしてほしいという御提案についてでございますが、現在本市には、御経塚 4 丁目地内の御経塚東公園と明倫高校から近いところでは、白山町にあります、ろくらぐち公園の 2 か所の公園においてバスケットボールのハーフコートを設置しております。

また、テニスにつきましては、野々市中央公園や野々市市スポーツランドなどの運動施設にあるテニスコートのほか、公園では、三納 3 丁目地内の三納公園、新庄 5 丁目地内の新庄ひばり公園にテニスコートを設置しております。

このようなことから、現時点においてバスケットボールのハーフコート、テニスコートの壁打ちや試合ができる公園の設置などバリエーションの増加につきましては、具体的な計画はございませんが、中高生の皆様にも公園を利用頂き、活気ある街を可視化することは大切でありますので、御提案につきましては今後の参考にさせていただきたいと思っております。

○坂口紗奈議長 8 番、前遥登議員。

○前遥登議員 かめはうすやユニクロ近くのアンダーパスの改善についてお聞きします。

電気が弱くなりトンネル内の視認性が悪くなったり、あちらはトンネル内は明るいのですが、あそこの画像を見ていただくと、丸で囲ってある部分があると思いますが、あそこには実は人が二人写り込んでいます。

しかし、学校支給でもらったクロームブックで写真撮影をしたところ、人が見えなくそれぐらい暗いことが分かります。また、雨漏りがしたり坂道になっているので靴が浸水するぐらいの水がトンネル内に溜まったりします。

道幅が狭く急勾配であり、かめはうす近くなのに利用しづらいです。また、7 時から 8 時半、15 時から 16 時半は車が通ってはいけない決まりなのにルールを破って通ったりする車がいます。また、警察の人たちがたまに見張っていたりして、違反者の切符を切っていたり

しているが減りません。

さらに、トンネル内で車が出会ったときに、客観的に見て譲らないといけない側が譲っていなかったりと危険が多過ぎます。

対策についてお聞きます。

この近くの小学校は押野小学校、中学校と高校は野々市、布水、明倫と圧倒的に中学校と高校の人数が多いので、車の通れる時間の変更をしてほしいです。

また、大雨が降った際の雨水を外に出す排水溝などが欲しいです。4番のスライドって出せますか。右の写真に排水溝があるのですが、あそこの排水溝は坂道に挟まれており、水がうまく外に出ないようになっていて水が溜まります。なので、排水溝を改善してほしいです。

さらに歩行者の通れる道幅を広くしてほしいです。

そして、三日市アンダーパスというものをインターネットで調べてみたら、野々市市が2018年の12月25日に最後更新してから更新がされていないです。

今は道路交通法など改正がたくさんされているので、それに合わせて三日市アンダーパスなど道路は改善しないといけないなと思いました。また、2チャンネルというスレッドで三日市アンダーパスについて何か、何ていうんでしょう、なんか文句みたいな苦情みたいなたくさん寄せられてるスレッドを拝見しました。そういうのがあったので改善してほしいなと思いました。

御検討をお願いします。

○坂口紗奈議長 朝倉雅三さん。

〔朝倉雅三登壇〕

○朝倉雅三 前議員から三日市のアンダーパスについての質問を承りました。

議員お話しの国道8号を横断する三日市地内のアンダーパスは、昭和45年に国道8号線の整備により農道が寸断されるため、地域の方々や農耕車などが行き交いできるようにつくられたものでございます。

現在では、市街化が進み通行する車両も非常に多くなり、歩行者と車両の接触事故が懸念される路線であると認識しております。

このため、本市では通行する児童、生徒など歩行者の安全確保を最優先に、これまで道路上に通過交通の速度抑制を図るための段差、いわゆる円形ハンプなど歩行者の安全対策の強化や警察との連携により通学時間帯に車両の通行禁止などの対策を実施してまいりました。

御質問のアンダーパスにつきましては、現状を維持しながら歩行者、自転車の安全を第一に考え、交通規制を実施する警察などと連携し、より一層安全な通行となるように努めてまいりたいと考えております。

次に、大雨が降った際の雨水排水と夜間の照明についてですが、まず雨水排水につきましては、アンダーパスの構造上、排水ポンプによる処理を行っております。

しかし、豪雨などの場合には、排水が十分でないケースがあることを認識しております。

また、アンダーパスの照明については、故障などの可能性もあるんですが、今写真を見せていただきますとアンダーパスの前後の坂道という意識になるのかなというふうに思います。

こちらのほうは、町内会の管理の街灯か何かになるのかその辺は国土交通省と協議してまいりたいと考えております。

なお、今、雨水排水の話がございました。私もこの質問頂いてから見守り隊の方々から少し取材させていただきました。

過去、短時間の集中豪雨の折には、ちょうど御園小学校側の地下の一番下の角のところにポンプがあるわけですが、そこへ東西両方から一気に雨水が入ってきます。そのときは30センチ近くまで雨水が溜まったそうです。なぜかって言いますと、その溜枡のところに下にポンプがあるんですが、ちょうどそのポンプの溜枡の上に両方から集まってきたごみがどっさりと詰まったということで、ちょうど通学の時間帯で地元の方が軽トラックを出して、三日市側から小学校側へ生徒をアンダーパスに軽トラックに乗せて送ったということも聞いております。

そういった意味において、本市としてはそのようなことのないように日々管理チェックをしながら、日々業務に当たっているところでございます。

以上です。

○坂口紗奈議長 9番、高瀬怜桜議員。

○高瀬怜桜議員 僕は、南ヶ丘病院の横の道路で横断歩道や信号の間隔が広く、自分が渡りたいと思うときになかなか渡ることができません。また、そこはスーパーや大きい病院があるので車通りが意外と多く、横断歩道がないと危ないと思いますし、野々市市は現在、子どもが多くなってきている傾向があり、さらに交通に対する安全面を考え直してみる必要があるのではないかと考えました。

施設の充実による交通量の増加に対する安全性の確保について、考えをお聞きます。

○坂口紗奈議長 梅野智恵子さん。

〔梅野智恵子登壇〕

○梅野智恵子 高瀬議員の御質問にお答えいたします。

議員からは、南ヶ丘病院周辺における横断歩道などの設置に関する御提案を頂きました。

本市では、これまで交通事故のない安全なまちの実現に向け、国や県、警察などと連携し道路の補修や改良、交通規制の見直しなどを通じて交通環境の整備を行ってまいりました。

御指摘の地域周辺においては、近年店舗などの進出により交通状況が大きく変化しているものと認識いたしております。

その実態を踏まえた上で、地域の方々や市の交通関係団体などの御意見を伺いながら、必要に応じて横断歩道などの新設について警察へ申入れを行ってまいりたいと考えております。

○坂口紗奈議長 7番、瀬森乃介議員。8番、前遥登議員。9番、高瀬怜桜議員。

○瀬森乃介議員 これで終わります。ありがとうございました。

○坂口紗奈議長 10番、稲林莉瑚議員。11番、垣坂穂佳議員。12番、小杉優衣議員。

〔稲林莉瑚議員、垣坂穂佳議員、小杉優衣議員登壇〕

○坂口紗奈議長 10番、稲林莉瑚議員。

○稲林莉瑚議員 のっティのルートの変更についてお話しします。

私は、布水中学校に通っていましたが家から遠く自転車通学区域に住んでいました。

学校には大きな駐車場がないため、雨や雪の日は車で送迎が集中し、登校中の生徒が危険な思いをすることが多くありました。

そのため、雪や雨の日はバス通学が学校側から推奨されていましたが、私たちの住む区域が

ら布水中または付近へ直接行くバスがありませんでした。野々市駅まで車で行けない場合に、西部ルートから北部ルートへの乗換えが必要で遅刻してしまう時間帯にしか利用できません。なのでもう少し時間帯を変更してもらう、もしくは西部ルートで布水中の近くまで行くことのできるルートにするなど工夫がもっと必要だと私は思いました。

御検討をお願いします。

○坂口紗奈議長 畠中勝己さん。

〔畠中勝己登壇〕

○畠中勝己 稲林莉瑚議員からの御質問にお答えさせていただきます。

現在、コミュニティバスのつてィは、市内4ルートを60分で循環しており、市民の皆様の生活を支える交通手段の一つとなっておるところでございます。

のつてィの運行につきましては、市内の主要な施設や公共交通空白地域を結んでおり、また、運行ダイヤにつきましては、IRいしかわ鉄道や北陸鉄道石川線、そして市内3か所にある交通結節点での接続などを総合的に勘案し設定しております。

このことから、議員御提案の西部ルートを布水中学校近くに延伸することやバスの時間帯を調整することにつきましては、他の公共交通機関との接続、また、ほかのルートへの乗り継ぎなどから現状ではいずれの変更も難しい状況でございます。

しかしながら、今後、市内の交通事情や現在進めている土地区画整理事業の進捗などに合わせ運行ルートやダイヤを見直す機会もあると思いますので、その際には、今回、御提案頂きました内容を検討してまいりたいと考えております。

○坂口紗奈議長 11番、垣坂穂佳議員。

○垣坂穂佳議員 私は、野々市市の夜をもっと明るくしてほしいという意見で、野々市市は街灯が少なく、夜になるとお店の周りや大通りを抜けると真っ暗になってしまうことが多いので、中学生や高校生が部活終わりに帰るとなると暗い道を通らないと行けなくなることがあります。

私がいつも家に帰るときも、部活終わりだと六、七時代になるため、日が沈んだあとなので街灯がない真っ暗な道を通ることが多いです。暗い道には人通りも少なく周りも見渡しにくいので、事故や不審者が出るなどの危険が高くなってしまいます。また、ほかの県や市町村でも同じように街灯が少ないことが問題視されているところもあり、実際に防犯対策として街灯が増設された事例もありました。

これらのことから私は野々市市にもっと街灯を増やし、日が沈んだ後でも明るく周りを見渡せるようにするべきだと思います。そのような危険箇所の有無と対応についてお聞きします。

○坂口紗奈議長 田中陽子さん。

〔田中陽子登壇〕

○田中陽子 垣坂穂佳議員の質問にお答えいたします。

議員がおっしゃるとおり、暗い道を通るとき防犯灯があれば心強く思う気持ちはよく分かります。

防犯灯の設置につきましては、市が取組を進めております市民協働の観点から、原則、それぞれの町内会が主体となって設置箇所の選定、修繕を含めた設備の管理を行っております。

また、地域の実情に即した効果的な防犯灯の整備に向け設置費用や維持管理に要する費用を市が町内会に対し助成をいたしております。

市民の皆様が安心して生活することができるよう、考えられて設置されているものではございますが、中には設置スペースが確保できないとか、照明を広く充てることにより稲作の育成に影響があるなど、設置や設定変更が難しい場所もございます。

このことを踏まえ、垣坂議員より今回お示しを頂いた場所についてお話をいたしますと、まず堀内北交差点から稲荷3丁目へ向かう通り道については、町内会の皆様にこの御提案をお伝えし、設置の必要性について御検討をお願いしたいと考えております。

次に、市役所の東側にある健康の道についてでございますが、このような川沿いの遊歩道につきましても、町内会管理の防犯灯ではなく、市が管理する道路照明灯が設置されております。

お示しの部分につきましては、道路照明灯が設置されており安心して通ることができる遊歩道であるにとらえておりますが、暗いとの御指摘を頂いたことを踏まえまして、道路照明灯の現在の状況等を確認し、故障や不点灯などの不具合か所の修繕や、また、LEDなどにより明るい照明への更新を検討してまいりたいと考えております。

○坂口紗奈議長 12番、小杉優衣議員。

○小杉優衣議員 私は、16年間この野々市市に住み暮らしてきて気づいたことは、近年、住宅地などの建物が増え都市化が進んでいるということです。

その都市化が進み、日々進化している野々市市に私たちがより誇りを持ち、野々市市にすることを日々実感できるためには、まちの景観を重要視したまちづくりが必要だと考えました。

1例として、6月に明倫高校が修学旅行で訪れた北海道の千歳市では、千歳市の囲まれた自然を表す山の形をした街灯やサケの形をした街灯がありました。

初めて千歳市を訪れた私でも千歳市の魅力がそのデザイン性のある街並みの景観で伝わってきたことが印象に残っております。

そこで、明倫高校前の通りに野々市市の市の花であるツバキのデザインの街灯を設置するのを提案します。中央公園の中にある野々市椿館、椿通りとも関連性があります。

野々市市ならではのデザイン性を持った街灯の設置により、野々市市の景観が前よりも豊かになり、野々市市の魅力が野々市市以外の人にも、野々市市に住んでる私たちにも伝わると思っています。

御検討をお願いします。

○坂口紗奈議長 西村雅博さん。

〔西村雅博登壇〕

○西村雅博 小杉優衣議員から明倫高校前の通りにツバキのデザインの街灯設置をという提案を頂きました。

観光地や商店街では、デザイン性の高い街灯をよく目にします。その地域の特性を強く感じますとともに街並み景観そのものの魅力向上につながると考えております。

しかしながら、デザイン性の高い街路灯は、その地域特性を鑑みているためほとんどが特注品、いわゆるオーダーメイドであるため、街路灯の製作自体に時間を要すること、また、費用面においても高価になることがデメリットとして考えております。

そうなりますと、何かの事情で修繕が必要になった場合には発注から復旧までに相当の時間がかかってしまい、その間は街路灯がない状態となります。

市内のあるメイン通りには、趣があり情緒的な雰囲気を醸し出す防犯灯が設置されております。

すが、昨年の能登半島地震の際には、振動に耐え切れず破損した事例がありました。

早急に修繕をしようにも全く同じデザインのものを発注することができず、原状復旧までにかなりの時間を要しました。

防犯灯に求められることは、通行者が安全に安心して通ることができる明かりを絶やさないことが最優先であると考えております。このため、故障や修繕、改修した場合に速やかな復旧が必要であることから、小杉議員御提案については難易度が高いというふうに考えておりますのでその旨御理解ください。

○坂口紗奈議長 小杉優衣議員。

○小杉優衣議員 西村さんの御答弁に対して再質問をいたします。

財源的な理由で厳しいとおっしゃいましたので、街灯一つ一つの大きさを小さくして費用を抑えることを提案します。

例として、足元灯というものがあります。このくらいの大きさで、公園などに暗い足元を照らすことを目的に設置されていることが多いです。

一般的なポール型の街灯よりも小さくて費用が抑えられるので、破損したときの復元にも時間も費用も抑えられると思います。

○坂口紗奈議長 西村雅博さん。

〔西村雅博登壇〕

○西村雅博 小杉優衣議員からフットライトの再質問を承りました。

再答弁する前に、街路灯の目的、種類というものをまず御説明申し上げます。

一般的に通行者、要は歩道を通るために足元、足元じゃないな、その空間を安心安全に通っていただくための防犯灯、これが一般的にまず、防犯灯と呼ばれてるものです。

もう一つが道路のほうの照明を照らす道路照明灯と呼ばれてます。これは交差点だとか、通過する車両が安全に通行できるように道路側を照らしています。この二つを合わせて、街路灯というふうに呼ばれております。これは高い位置から広範囲に照らすというふうなメリットを持っております。

小杉議員の御提案のフットライトに関しては、御提案のとおり足元を照らすということでございますので、なかなか広範囲のものを照らすという目的と相違してまいります。目的が一部違うというものもございます。

費用面においてでございますが、確かに小杉議員御提案のフットライトは製品自体は安価になると思いますが、設置する際には工事費というものがかかります。

御存じのとおり、電柱の場合は電線が通っておりますので、直接電線から電力供給の線を引っ張ることは可能なんですけども、議員御提案のフットライトの場合には、地下の中に配線をするという製品以外、工事費というものが発生するかと存じます。

このことから、トータルコストという面においても目的という面においても御提案頂いたフットライトに関しても困難性が高いと考えます。

以上で再答弁を終わります。

○坂口紗奈議長 10 番、稲林莉瑚議員。11 番、垣坂穂佳議員。12 番、小杉優衣議員。

○稲林莉瑚議員 以上で終わります。ありがとうございました。

○坂口紗奈議長 13 番、青木友紀議員。14 番、宮向那和議員。15 番、野本紘路議員。

〔青木友紀議員、宮向那和議員、野本紘路議員登壇〕

○坂口紗奈議長 13 番、青木友紀議員。

○青木友紀議員 私は、のっティバスの I C カード使用を希望します。

理由としては、移動の際のっティのほうが効率的だったり、手持ちの小銭がないときのっティに乗りたくても乗れないというふうに友人から伺ったことがきっかけです。

ほかにも 5,000 円を両替することができなく、1,000 円を持っていないと 100 円に両替するしか支払う方法がないところも不便なので、やはり現金だけというのは少し利便性に欠けていると考えました。

I C カードの利用を可能にすれば、利用客も増え、現金と I C カードを持っている方はわざわざ運転席付近に 1,000 円を両替しに行く手間もなくなり、出口付近での混雑を避けられます。そのため、I C カードの導入についての考えをお聞きます。

○坂口紗奈議長 中村和流さん。

〔中村和流登壇〕

○中村和流 青木議員の質問にお答えいたします。

議員お話しのとおり、現在本市のコミュニティバスのっティにおいては、現金及び回数券のみを運賃の支払い手段として用いているところであります。I C カード等のキャッシュレス決済には対応していない状況でございます。

こうした中、市民の皆様から I C カードによる支払いができるようにしてほしいという声があることは承知しております。

近年では、全国で利用可能な交通系 I C カードの利用が鉄道やバスなどの公共機関で広く普及しており、また、スマートフォンを活用したキャッシュレス決済も一般的となりつつあります。

これにより、利用者の利便性が向上するだけでなく、運行事業者側においても運賃収受の効率化や現金管理の負担軽減といった効果が期待できるとされています。

本市のコミュニティバスは、地域住民の方々の生活を支える重要な交通手段であり、誰もが安心して利用できるサービスの提供が求められております。

こうした観点からも、I C カード決済を導入することにより、より多くの方に御利用頂ける環境が整い地域の移動手段としての利便性が一層高まるものと考えております。

青木議員御提案の I C カード決済導入につきましては、他自治体における先行事例や導入コスト、運行事業者との調整事項等も踏まえながら研究を進めていきたいというふうに考えております。

○坂口紗奈議長 14 番、宮向那和議員。

○宮向那和議員 私は、自転車専用道路の設置について提案します。

来年から自転車が歩道を使えなくなる活動が本格的になることを知りました。自転車が車道の白線の中を走ると今まで歩道を走っていた自転車が全員白線を走ることになり危険です。そうすれば絶対車との接触事故や歩行者と自転車の事故、自転車同士の接触事故が頻繁に起こるし、学校の登校手段に自転車を使う人も多く、専用道路があると助かる人もたくさんいると思うので、私は自転車専用道路の設置を提案します。

そうすれば自転車を使う人が増え、二酸化炭素の排出も少しは減ることにつながるのではな

いかと思いました。

以前総合的な探究の時間の活動で先生方にアンケートを実施したとき、先生の意見で自転車専用道路をつくってほしいとの声もありました。車を運転する人からしても自転車が車道の白線を走るとは道路が狭くなり事故を起こしそうで不安だと思います。そのため私は自転車専用道路をつくってほしいと思いました。

御検討をお願いします。

○坂口紗奈議長 木谷直子さん。

〔木谷直子登壇〕

○木谷直子 宮向那和議員の質問にお答えいたします。

自転車の利用に際しましては、自転車事故の防止を目的として令和6年5月24日に道路交通法が改正されております。

令和8年4月1日からは、16歳以上の方が自転車を運転中に交通違反をした場合、交通反則告知書、いわゆる青切符が適用される予定でございます。

このことにより、自転車運転における違反への罰則が強化されることになります。

議員御提案の自転車専用道路は、車道と物理的に分離された専用の道路であり、道路幅は原則3メートル以上と規定されております。この自転車専用道路の整備に当たりましては、市内の限られた道路空間において新たに整備用地を確保することは難しい状況にあります。

しかしながら、歩行者と自転車、自動車が安全かつ安心して通行できる道路網の構築は非常に重要であると認識をしております。

本市では、まず市内の幹線道路におきまして自転車専用通行帯を設置できないか等、利用者がより安全に通行できる道路空間の確保に向け、今後、調査研究を行ってまいりたいと考えております。

○坂口紗奈議長 宮向那和議員。

○宮向那和議員 木谷直子さんの御意見に再質問します。

場所がなくつくることが難しいのであれば、もともとある車道の白線を広くして自転車がたくさん通れるようにすることはどうかと提案します。

○坂口紗奈議長 木谷直子さん。

〔木谷直子登壇〕

○木谷直子 実は私の息子も高校生のとき自転車通学をしておりまして、非常に狭い道幅の自転車専用通行帯を通らなければならない、すぐ横を車が通ることを非常に危ないなと私自身も感じておりました。

今の自転車の交通ルールに関しましては、道路交通法の改正に対しまして道路の整備が追いついていないというのが現状であるというふうに私も認識をしております。

今、御提案頂きました白線を広くというお話でしたが、自転車のルールとしましては車道の左側を通っていただく。ということで、白線の中を走らなければならないというわけではございません。白線の中というのは、基本歩行者が通る部分というような認識で私は今おりまして、ですので道路幅の規定などもございまして、すぐに白線の位置をずらして広くするという事は困難ではないかというふうに考えております。

○坂口紗奈議長 15番、野本紘路議員。

○野本紘路議員 野々市市は、日本全体で見ても比較的若い平均年齢を持ち、充実した子どもへの福祉などにより多くの若者が存在する市です。

しかし、それでも年々老年人口が増えており、ここに住む若者たちも将来的に親の介護に時間をとることができずに介護施設に入らなければならないと考えます。

そのような状況になっていくと、現状の介護施設の量では支えきれないと思います。そのため、介護施設を増やすべきだと思います。

今後の見通しについてお聞きします。

○坂口紗奈議長 三納昭博さん。

〔三納昭博登壇〕

○三納昭博 野本紘路議員の質問にお答えさせていただきます。

議員お話しのとおり、本市におきましても全国的な傾向と同様に、65 歳以上の高齢者が占める割合が今後増加すると見込まれております。

そうしたことから本市では、高齢になっても住み慣れた地域、要は自分のおうちです。で自立した生活が送れるよう予防や在宅生活支援など多角的な視点から取組を行い、介護保険の適切な運用を行っております。

そのうえで必要となる介護施設の整備につきましては、人口の将来推計やそれに対応した介護サービスの見込み量などを考慮の上、介護保険事業計画を基に整備を進めてまいります。

今後も引き続き健康寿命の延伸と各種の福祉施策に取り組んでまいります。

以上です。

○坂口紗奈議長 13 番、青木友紀議員。14 番、宮向那和議員。15 番、野本紘路議員。

○青木友紀議員 これで終わります。ありがとうございました。

○坂口紗奈議長 これで一般質問を終わります。

市 長 の 感 想

○押田浩三議会事務局長 それでは、栗市長より感想を申し上げます。

○坂口紗奈議長 栗市長。

〔栗貴章野々市市長登壇〕

○栗貴章市長 大変皆さんお疲れさまでございました。

今日は、野々市明倫高等学校の生徒の皆さんとの高校生議会ということで、昨年に引き続いて開催をしていただきました。誠にありがとうございます。

そして、今日は議長役も生徒の方に務めていただいて、参加をされた 15 名の生徒議員の皆さんから大変鋭い質問を頂いたわけであります。

いつもは皆さんからの御質問に対して私が答弁をさせていただいておるんですが、今日は議員の皆さんの御答弁ということで、ある意味大変新鮮な感じもいたしました。

皆さんからは、日頃の通学とかあるいはこの野々市にお越しになったときのいろいろこう身近に感じられたことを中心に御質問があったのではないかというふうに思っています。

道路や交差点、横断歩道や街路樹とか、あるいは街灯のお話ですとか、融雪装置のお話ですとか、様々この道路の安全性の向上ということも含めてこの環境を何とかよくしたいというそういう思いの中からの御質問、それから 3 名の議員の方からは、のっティに関する御質問もあ

りました。それだけのっティの存在が皆さんにとって大変関心があつて身近なものになっているんだなあということを感じさせていただいて、大変うれしくも思ったところであります。

それから、皆さんの学習環境でありますとか、また、この野々市の将来ということを見据えた中で介護の問題なんかも御質問頂いたわけでありました。

いずれの質問も皆さんが直接現場に赴いて写真を撮影されてきたり、あるいは様々なことを調べてもらっていろいろなデータというのも集めていただいて、本当にしっかりとした内容の質問であつたというふうに思っています。

皆さんの質問の中には、これまで議員の皆さんから私が御質問を頂いた内容に近いものも多くあつたかというふうに思っています。

今日の答弁で理解を頂けた答弁、それから少し納得のいかないと思われた答弁、様々あつたかもしれません。でも、大変皆さんのこのすばらしい質問をしっかり受け止めさせていただいて、すぐに全て納得のいく答えを出せることは難しいかもしれませんが、少しでも今日の質問の皆さんの思いということに少しでも近づけるようなことになるように、研究や検討をこれからしっかり重ねていきたいな、そんなふうに思っています。

昨年の高校生議会で、実は明倫高校のちょうど真正面から向かいの中央公園に渡る横断歩道のところに信号機が設置できないかというそういった御質問も頂きました。

信号機の設置ということは実現をいたしておりませんが、でも、その御質問を頂いて生徒の皆さんが安全に横断歩道を渡っていただけるように、御承知だと思いますけれども、今年、横断歩道のところをグリーンのカラで覆わせていただいて横断歩道を設置をして、そして車からはっきりと横断歩道が分かるように、そしてまた横断者の皆さんがいらっしゃることもしっかり分かるように、そういう整備もさせていただいたところであります。

本当に今日の皆さんの御質問もいろいろな本当に何ていうか一生懸命に調べて、皆さん自身が検討していろいろな提案も含めての御質問でありましたので、ぜひ皆さんのその思いに少しでも近づけるようにこれから検討していきたい、そんなふうに思っています。

そして、今日の皆さんの御質問は、今日御答弁をされた議員の皆様にも大変いろいろ胸に刺さる質問もあつたのではないかというふうに思っておりまして、恐らく次の野々市市議会9月に開催をされますけれども、今日の皆さんの質問をベースにさらに何か鋭い質問が来るんじゃないかなあと私はそういう実は心配をしております、本当に今日の皆さんの質問っていうのはそういう意味では大変すばらしい、そして野々市のことを皆さん関心を持っていつも考えてくださってるな。そしてまた野々市の魅力ということをどう発信をすればいいかっていうようなことも含めて、本当にこの野々市のことをしっかり考えていただけてるんだなっていうことを改めて感じさせていただいたところであります。

本当に今年のこの高校生議会、そういう意味で皆さんのおかげで大変すばらしい高校生議会になったのではないかというふうに思っております。

皆さんに心から感謝を申し上げて感想とさせていただきたいと思います。

本日は誠にありがとうございました。

○押田浩三議会事務局長 栗市長ありがとうございました。

副 議 長 挨 拶

○押田浩三議会事務局長 最後に、主催者を代表いたしまして、向田誠市副議長が御挨拶を申し上げます。

〔向田誠市野々市市議会副議長登壇〕

○向田誠市副議長 本日、令和7年度野々市市議会高校生議会に御参加頂きました石川県立野々市明倫高等学校の15名の生徒議員の皆様及びお世話頂きました先生方の皆様方に心より感謝とお礼を申し上げます。

本日の高校生議会におきまして、皆様方よりちょうだいいたしました一般質問の内容につきましては、一部、昨年の質問内容と重複するところもございましたが、今年はさらなるバージョンアップされた内容になっており、私たち市議会議員も参考にさせていただくところもあり、これから野々市市の将来を担っていかれる高校生の皆さんの質問を拝聴させていただき、少し胸をなでおろし安堵しているところでもございます。

高校生の皆様方におかれましては、今後とも勉学部活動に励んで頂き、自分たちの目指す目標に向かってしっかり学生生活を送っていただき、皆様方の中から将来の野々市市議会議員を目指す方が出てこられることを切に願い挨拶に代えさせていただきます。

お疲れさまでした。

○押田浩三議会事務局長 向田副議長ありがとうございました。

閉 会

○坂口紗奈議長 以上をもって、野々市市議会高校生議会の議事全部を終了いたしました。

これにて会議を閉じます。

令和7年度野々市市議会高校生議会を閉会いたします。

午後4時08分閉会